

一般傍聴者向け



はちおうじ子ども議会

平成20年8月31日(日)

午後1時～3時30分

八王子市役所 議場

主催 八王子市

共催 八王子市議会

日 程

時間	内 容
12:30	開場 / 受付
12:50	子ども議員着席
13:00	子ども議会開会
	開会の挨拶～子ども議会議長
	市長挨拶
	市議会議長挨拶
	開催趣旨説明～子ども議会副議長
13:15	代表質問と答弁
	1 みんなの遊び場委員会
	2 緑の学校委員会
	3 エコバッグ推進委員会
	休憩(10分)
	4 たかんこう(高尾観光)委員会
	5 Greenver City委員会
	6 子どものしあわせ委員会
	7 八王子交通委員会
15:20	市長より総評
	閉会の挨拶～子ども議会副議長
15:30	閉会
15:45	子ども議員解散

子ども議員の提案・質問は7つ。扱うテーマに応じて「委員会」をつくり、その中から代表者が質問、提案を行う。

(質問10分+答弁5分)×7

はちおうじ子ども議会です

1 はちおうじ子ども議会の概要

子ども議会は、子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行うことを目的としています。テーマは「わたしたちが考えるまちづくり～十年後もこのまちが好きですか？」。

市内在住・在学の小学校五年生から中学校三年生までを対象として議員を募集し、42名の子どもたちが選ばれました。

5月10日には八王子市長や八王子市議会議長はじめ、議員の代表者らと一緒に結団式を行い、その後八王子市のことについての事前学習会を行いました。



結団式



市長からの認定書授与

6月28日には、市民と協働でつくられた小田野中央公園や戸吹清掃工場、都内初の道の駅である「道の駅八王子滝山」などの施設を見学しました。



小田野中央公園で地域の方から説明を聞く



戸吹清掃工場見学

7月30、31日には、「夕やけ小やけふれあいの里」で合宿しました。環境や教育、福祉、まちづくりなどに関わる市の担当職員に質問したり、今行われている市の事業に

ついでの説明を聞いたりし、その後自分の興味のあるテーマごとに「委員会」をつくってワークショップを行い、「発言通告書」（提案や質問事項）をまとめました。



市の職員から話を聞く



提案作成のためのワークショップ

こうした積み重ねを経て42名の子ども議員は本日の子ども議会を迎えました。一人ひとりの素朴な疑問からスタートし、仲間と議論を重ねて考えられた子どもたちの大切な提案です。どうか最後まで耳を傾けてください。

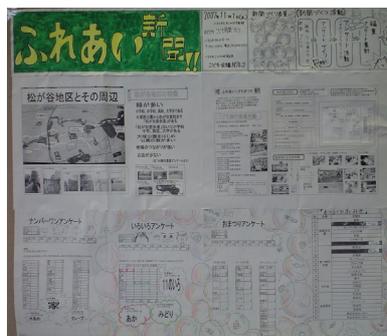
また、市では平成21年度に、子ども政策を総合的に推進するための計画である「八王子市こども育成計画」の後期計画を策定します。子ども議員の意見は提言書としてまとめられ、計画の素案作成を行う八王子市こども政策推進協議会に提出されます。

2 子ども議会の背景

《子ども会議》

市では、国連の「子どもの権利条約」を受けて平成12年に「子どもすこやか宣言」を行い、この条約の第12条「子どもの意見表明権」に基づき、子どもが自由に自分の考えや意見を発表できる機会をつくることをめざして「子ども会議」を毎年開催してきました。

平成16年からは「こども育成計画」の5つのブロック毎に地域の大人と子どもと一緒に、アンケート調査や地域新聞作成などを行ってきました。



H18 子ども会議～子ども地域新聞の記事

《子どもすこやか宣言》

八王子市では、平成12年3月につくった八王子市新地域福祉計画のなかで、子どもの権利条約の精神を尊重し、この宣言を行うことにしました。子どもと大人による文案検討委員会をつくり、そこで議論して、平成13年2月に発表したものが、この宣言文です。

八王子市子どもすこやか宣言

- 1 わたしたちは、人にはみんな違いがあり、みんなよいところをもっていることを認め、お互いに相手を尊重します。
- 1 わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに好きなことに夢をもち、元気にくらしします。
- 1 わたしたちは、しっかりと自分を表現し、自分の意見や行動に責任をもちます。
- 1 わたしたちは、子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる家庭を望みます。
- 1 わたしたちは、家庭や学校そして地域で、学習する楽しさがわかり自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます。

平成13年2月4日 八王子市

3 子ども議会のキーワード

「子どもの参加」

「子どもの参加」とは、子どもたちが自らの可能性を広げていく場、学校や家庭や遊びの中で蓄えた「生きる力」を試せる場を、子どもたちに提供していこうという考え方です。

このことは子どもたちの自己実現にもつながります。子どもが自分の力を信じ、自分に対する肯定的な気持ちをもてるよう、大人は子どもを社会の中で受け入れる姿勢が必要と考えます。

「子どもの参加」という考え方は、「子どもの考えを聞くことはいいことだ」という、単に子どもの考えを認めることではありません。

「子どもの主体性については理解している」と思っている大人が企画しても、子どもが単に人数合わせだけの参加者として扱われれば、「子どもの参加」はすぐに「大人中心」のものになり、気が進まない子に押し付けたり、子どもの年齢や能力をいかせないような方法で企画されたりしてしまいます。

子どもに意見を聴き、子どもの視点を真剣に取り上げ、子どもにとっての有意義な参加を忍耐強く継続して手助けするのは大人の責務です。そのために「子どもの権利条約の考え方を基盤としたアプローチ」が必要になります。

しかし、いくら企画段階から子どもに参加してもらおうとしても、現実には子どもに関わってもらうこと自体が難しく、課題となっています。

「人との関わりを避けたい。面倒くさい。目立ちたくない。だから、動くのは嫌だ！」

そんな子どもたちが多いのも現実です。これは、私たち大人も思い当たることが多いのではないのでしょうか。

大人が積極的に、子どもと関わり、忍耐強く子どもの取り組む過程を見守りたい。そのためには、なにより私たち大人が、変わらなくてはなりません。まず大人も参加してみることで、責務を果たす“第一歩”になるのではないのでしょうか。

「学生サポーター」

子ども議会を支える大学生によるグループです。子どもを支える援助者となって活躍してもらえよう、平成19年度から子どもの関わり方や市政の知識をテーマとしたワークショップ、子ども会議への参加などの経験を積み、子どもに寄り添い、一緒に活動できるサポーターとしてのスキルを身につけてきました。知識やテクニックはもちろんですが、実際に活動に参加しながら「子どもにとって何が大切か」「私たちは何ができるのか」を感じとることのできる、頼もしいお兄さんお姉さんで、彼らがいなければ子ども議会の実現は難しかったでしょう。



アドバイザーによる研修風景



ワークショップではファシリテーター役

「アドバイザー」

平成19年度の学生サポーター養成から今回の子ども議会の組み立てまでをアドバイスしていただく事業アドバイザーをおきました。

山本 克彦氏（やまもとかつひこ）：岩手県立大学福祉臨床学科准教授

公立中学校教員、保育園副園長などを経て、生涯学習研究所 SOUP で滋賀県の子ども議会などを企画運営。現在は岩手県立大学社会福祉学部福祉臨床学科准教授。児童福祉、グループワークを専門とする。◆著書に「わくわくどきどき自然大好き遊び!」、フレーベル館、2000年◆「福祉教育実践ハンドブック」(共著)、全国社会福祉協議会、2002年◆「子どもの参加-国際社会と日本の歩み-」(共著)、アジア太平洋人権情報センター、2005年◆「子どもとマスターする50の権利学習-イラスト版子どもの権利-」(共著)、合同出版、2006年ほか多数。

子ども議員による委員会と発言について

今回の子ども議会では、一人ひとりの子ども議員が日頃から思っている疑問や質問、「こうなればいいのに」「こうしたらもっとよくなるんじゃないかな」と考えていることについて、何度も問いかけ、自分の考えをまとめる作業をしてきました。

それをもとに、同じようなテーマについて考えている子ども議員同士が学年や学校も越えて「委員会」をつくり、学生サポーターといっしょに、たっぷり時間をかけて意見交換を行いました。みんな言いたいことはたくさんあるけど、基本的には委員会で出来る提案、質問はひとつだけ。意見が分かれたり広がったりしながら提案は何度も変わりました。それを根気強く聴きながら、「子どもたちの力で」まとめさせたのが学生サポーターであり、出来上がったものが今回の発言です。子どもだから未熟かも知れませんが、でも子どもだから考えられたことなのかも知れません。その一つひとつが42人の思いです。

委員会名	発言題目	要旨
みんなの遊び場委員会	みんなの遊び場について	身近にある中学校や市民センターを使って、ボールあそびが出来たり、放課後に遊べる場所をつくろう
緑の学校委員会	地球温暖化の防止策として、学校に緑のカーテンや屋上庭園をつくろう	地球温暖化防止に向けて、身近な学校からはじめるため、緑のカーテンや屋上庭園をつくろう
エコバッグ推進委員会	エコバッグを推進しよう	エコバッグ推進運動の提案 ①エコバッグと共に商店街で使えるエコバッグポイントカードを配布する ②エコバッグのPR
たかこう委員会 (高尾+観光)	高尾山を活かして八王子をPR	多くの人を訪れる八王子で1番の観光名所「高尾山」を活かして、八王子の素敵なところをPRしよう
Greenever City委員会 (グリーンエバー)	Greenever Cityをめざして	八王子駅周辺の緑化を進めるための駅前芝生化プロジェクトの提案
子どものしあわせ委員会	「子どものしあわせ課」をつくろう	子どもの目線で、いじめをはじめ子どもの悩みを解決するために「子どものしあわせ課」をつくる
八王子交通委員会	自転車専用道路の設置について	のびのびと自転車で走れるまちづくりに向けた提案

子ども議員 学年別内訳

小学校5年 15名

小学校6年 15名

中学校1年 4名

中学校2年 7名

中学校3年 1名

子ども議員 男女別内訳

男子 19名

女子 23名



はちおうじ子ども議会

主催 八王子市こども家庭部こども政策課

共催 八王子市議会

〒192-8501

東京都八王子市元本郷町三丁目24-1

TEL 042-620-7391 (直)

E-mail b081900@city.hachioji.tokyo.jp